

科目名	基礎医学特講(講義)				担当者名	濱本 邦洋 田川 辰也 水元 一博	
	学科	診療情報管理専攻科	学年	3年		学期	前期
実務経験	濱本 邦洋 昭和51年6月～福岡大学病院 臨床研修医(小児科) 昭和56年～福岡大学医学部 助手(小児科学) 平成2年4月～福岡大学病院 講師(小児科) 平成18年4月～福岡大学筑紫病院 助教授(小児科部長) 平成19年10月～国際医療福祉大学 福岡リハビリテーション学部 教授 田川辰也 平成1年6月～九州大学医学部附属病院 内科 研修医 平成5年7月～山口赤十字総合病院 内科医師 平成14年1月～九州大学医学部附属病院 循環器内科 医員 平成16年4月～琉球大学大学院医学研究科 薬物作用制御学助教授 平成31年4月～福岡国際医療福祉大学 医療学部 理学療法学科 教授 水元一博 昭和56年6月～九州大学伊賀生附属病院 第一外科研修医 昭和57年4月～北九州市立医療センター 外科研修医 昭和58年4月～下関市立中央病院 外科 昭和59年4月～国家公務員共済組合連合会 千早病院 昭和60年4月～国立小倉病院 外科 平成元年10月～久恒病院 平成2年12月～アメリカ合衆国 Thomas Jefferson Univ. 研究員 平成5年6月～九州大学医学部附属病院 第一外科助手 平成9年10月～九州大学医学部附属病院 第一外科講師併任 平成11年5月～九州大学医学部附属病院 第一外科医長 など				資格等	医師(医籍番号 第231018号) 医師(医籍番号 第320793号) 医師(医籍番号 第258092号)	

《授業内容・意義・ねらい・到達目標》

目的: 1・2年次に学習した臨床医学の知識の復習を資格試験合格を目指して行う。 形式:試験形式 ・原則、各章の4コマ試験対策、2コマの復習試験&実力試験の合計6コマ。 ・各試験問題と10～20分の解説を行う。
--

《評価方法》

・成績評価は、試験問題及び学期中に行う復習&実力試験、出席状況、授業態度も加味して評価する。 ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。 ・受験生であることを自覚し、自己管理の徹底を図ること。 ・予習、復習を必ず行い、理解でないところがあれば早急に解決すること。
--

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅰ:基礎・医学編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理Ⅱ:医療用語編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題::基礎	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	3章 臨床医学総論 I	
第2回	3章 臨床医学総論 II	
第3回	3章 臨床医学総論 III	
第4回	3章 臨床医学総論 IV	
第5回	3章 臨床医学総論 V	
第6回	3章 臨床医学総論 VI	
第7回	4章 臨床医学各論 I (感染症) I	
第8回	4章 臨床医学各論 I (感染症) II	
第9回	4章 臨床医学各論 I (感染症) III	
第10回	4章 臨床医学各論 I (感染症) IV	
第11回	4章 臨床医学各論 I (感染症) V	
第12回	4章 臨床医学各論 I (感染症) VI	
第13回	5章 臨床医学各論 II (新生物) I	
第14回	5章 臨床医学各論 II (新生物) II	
第15回	5章 臨床医学各論 II (新生物) III	
第16回	5章 臨床医学各論 II (新生物) IV	
第17回	5章 臨床医学各論 II (新生物) V	
第18回	5章 臨床医学各論 II (新生物) VI	
第19回	6章 臨床医学各論 III (血液) I	
第20回	6章 臨床医学各論 III (血液) II	
第21回	6章 臨床医学各論 III (血液) III	
第22回	6章 臨床医学各論 III (血液) IV	
第23回	6章 臨床医学各論 III (血液) V	
第24回	6章 臨床医学各論 III (血液) VI	
第25回	7章 臨床医学各論 IV (精神) I	
第26回	7章 臨床医学各論 IV (精神) II	
第27回	7章 臨床医学各論 IV (精神) III	
第28回	7章 臨床医学各論 IV (精神) IV	
第29回	7章 臨床医学各論 IV (精神) V	
第30回	7章 臨床医学各論 IV (精神) VI	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第31回	8章 臨床医学各論V(循環器) I	
第32回	8章 臨床医学各論V(循環器) II	
第33回	8章 臨床医学各論V(循環器) III	
第34回	8章 臨床医学各論V(循環器) IV	
第35回	8章 臨床医学各論V(循環器) V	
第36回	8章 臨床医学各論V(循環器) VI	
第37回	9章 臨床医学各論VI(消化器) I	
第38回	9章 臨床医学各論VI(消化器) II	
第39回	9章 臨床医学各論VI(消化器) III	
第40回	9章 臨床医学各論VI(消化器) IV	
第41回	9章 臨床医学各論VI(消化器) V	
第42回	9章 臨床医学各論VI(消化器) VI	
第43回	10章 臨床医学各論VII(周産期) I	
第44回	10章 臨床医学各論VII(周産期) II	
第45回	10章 臨床医学各論VII(周産期) III	
第46回	10章 臨床医学各論VII(周産期) IV	
第47回	10章 臨床医学各論VII(周産期) V	
第48回	10章 臨床医学各論VII(周産期) VI	
第49回	11章 臨床医学各論VIII(皮膚・筋) I	
第50回	11章 臨床医学各論VIII(皮膚・筋) II	
第51回	11章 臨床医学各論VIII(皮膚・筋) III	
第52回	11章 臨床医学各論VIII(皮膚・筋) IV	
第53回	11章 臨床医学各論VIII(皮膚・筋) V	
第54回	11章 臨床医学各論VIII(皮膚・筋) VI	
第55回	12章 医学・医療用語 I	
第56回	12章 医学・医療用語 II	
第57回	12章 医学・医療用語 III	
第58回	1章 医療概論	
第59回	2章 人体構造・機能論	
第60回	2章 人体構造・機能論	

科目名	保健医療情報学(講義)				担当者名	下戸 稔	
学科	医療事務科	学年	3年	学期	前期	単位	2単位(30時間)
実務経歴	平成元年7月～平成15年7月津久見中央病院医事課勤務、平成15年8月～令和4年3月大分赤十字病院(医療業務支援課)勤務、令和5年4月～高邦会高木病院(診療情報管理部)勤務			資格等	診療報酬請求事務能力認定試験合格(H7) 診療情報管理士(H9)、診療情報管理士指導者(H21) 医療情報技師(H17)		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

目的:

保健医療情報学(Health Information)とは、情報通信技術(Information and Communication Technology、ICT)の、保健医療分野への利活用を研究し応用するための学問である。
 ICTの進展は、社会を変革しつつある。保健医療分野についても同様であり、この分野へのICTの応用、すなわち保健医療の情報化がもたらした効果は、きわめて大きなものがある。
 今世紀に入り、診療情報の電子化はますます進展し、医療機関内の情報化へ、また、医療のみならず保健・医療・介護・福祉分野間のICTによる情動的連携が実現しつつある。
 このような時代の診療情報管理士には、ICTを活用して有効かつ的確に診療情報を管理・二次利用できる能力が必要とされる。
 ここでは、保健医療情報の情報科学的認識、保健医療の情報化の動向、医療情報システムの実際、医療情報のセキュリティ管理、個人情報保護の方法などについて学習し、ICTを活用した的確な診療情報管理がいかに保健医療の質の向上に貢献し得るかを学ぶ。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・授業中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ:専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題:専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、5-1 保健医療情報学とは	
第2回	5-2 医療情報の特徴と種類	
第3回	5-3 行政が進める保健医療の情報化政策	
第4回	5-4 医療情報システム	
第5回	5-4 医療情報システム	
第6回	5-5 診療情報の二次利用	
第7回	5-5 診療情報の二次利用	
第8回	5-6 個人が管理する保健医療記録	
第9回	5-7 医療情報の標準化	
第10回	5-7 医療情報の標準化	
第11回	5-8 情報セキュリティ	
第12回	5-8 情報セキュリティ	
第13回	5-9 保健医療の情報化のこれから、5-10 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	
第16回		
第17回		
第18回		
第19回		
第20回		
第21回		
第22回		
第23回		
第24回		
第25回		
第26回		
第27回		
第28回		
第29回		
第30回		

科目名	専門 試験対策 I (講義)					担当者名	田中 宏和
学科	診療情報管理専攻科	学年	3年	学期	前期	単位	2単位(30時間)
実務経験	柳川リハビリテーション学院医事課で6年、山王病院医事課で5年、福岡山王病院医事課長として9年			資格等	診療情報管理士		

《授業内容—意義・ねらい・到達目標—》

目的:
1・2年次に学習した医療管理の知識の復習を資格試験合格を目指して行う。

形式:試験形式
・原則、各章6コマの試験対策、前・後期1コマの総合問題で行う
・各試験問題と10～20分の解説を行う。

《評価方法》

・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
・受験生であることを自覚し、自己管理の徹底を図ること。
・予習、復習を必ず行い、理解できないところがあれば早急に解決すること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ:専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題:専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、1章 医療管理総論	
第2回	1章 医療管理総論	
第3回	1章 医療管理総論	
第4回	1章 医療管理総論	
第5回	1章 医療管理総論	
第6回	1章 医療管理総論	
第7回	2章 医療管理各論 I	
第8回	2章 医療管理各論 I	
第9回	2章 医療管理各論 I	
第10回	2章 医療管理各論 I	
第11回	2章 医療管理各論 I	
第12回	2章 医療管理各論 I	
第13回	総合問題	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	
第16回		
第17回		
第18回		
第19回		
第20回		
第21回		
第22回		
第23回		
第24回		
第25回		
第26回		
第27回		
第28回		
第29回		
第30回		

科目名	専門 試験対策Ⅱ(講義)					担当者名	田中 宏和
学科	診療情報管理専攻科	学年	3年	学期	後期	単位	2単位(30時間)
実務経歴	柳川リハビリテーション学院医事課で6年、山王病院医事課で5年、福岡山王病院医事課長として9年			資格等	診療情報管理士		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

目的:
1・2年次に学習した医療管理の知識の復習を資格試験合格を目指して行う。

形式:試験形式
 ・原則、各章6コマの試験対策、前・後期1コマの総合問題で行う
 ・各試験問題と10～20分の解説を行う。

《評価方法》

・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
 ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
 ・受験生であることを自覚し、自己管理の徹底を図ること。
 ・予習、復習を必ず行い、理解できないところがあれば早急に解決すること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ:専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題:専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、3章 医療管理各論Ⅱ	
第2回	3章 医療管理各論Ⅱ	
第3回	3章 医療管理各論Ⅱ	
第4回	3章 医療管理各論Ⅱ	
第5回	3章 医療管理各論Ⅱ	
第6回	3章 医療管理各論Ⅱ	
第7回	4章 医療管理各論Ⅲ	
第8回	4章 医療管理各論Ⅲ	
第9回	4章 医療管理各論Ⅲ	
第10回	4章 医療管理各論Ⅲ	
第11回	4章 医療管理各論Ⅲ	
第12回	4章 医療管理各論Ⅲ	
第13回	総合問題	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	
第16回		
第17回		
第18回		
第19回		
第20回		
第21回		
第22回		
第23回		
第24回		
第25回		
第26回		
第27回		
第28回		
第29回		
第30回		

科目名	専門 試験対策Ⅲ(講義)				担当者名	下戸 稔	
学科	診療情報管理専攻科	学年	3年	学期	通年	単位	4単位(60時間)
実務経歴	平成元年7月～平成15年7月津久見中央病院医事課勤務、平成15年8月～令和4年3月大分赤十字病院(医療業務支援課)勤務、令和5年4月～高邦会高木病院(診療情報管理部)勤務			資格等	診療報酬請求事務能力認定試験合格(H7) 診療情報管理士(H9)、診療情報管理士指導者(H21) 医療情報技師(H17)		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

目的:
1・2年次に学習した医療管理の知識の復習を資格試験合格を目指して行う。

形式:試験形式

- ・原則、各章12コマの試験対策、前・後期1コマの総合問題で行う
- ・各試験問題と10～20分の解説を行う。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・受験生であることを自覚し、自己管理の徹底を図ること。
- ・予習、復習を必ず行い、理解できないところがあれば早急に解決すること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ:専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題:専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、1章 医療管理総論	
第2回	6章 医療統計 I	
第3回	6章 医療統計 I	
第4回	6章 医療統計 I	
第5回	6章 医療統計 I	
第6回	6章 医療統計 I	
第7回	6章 医療統計 I	
第8回	6章 医療統計 I	
第9回	6章 医療統計 I	
第10回	6章 医療統計 I	
第11回	6章 医療統計 I	
第12回	6章 医療統計 I	
第13回	総合問題	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	
第16回	オリエンテーション(授業の進め方)、4章 医療統計 II	
第17回	4章 医療統計 II	
第18回	4章 医療統計 II	
第19回	4章 医療統計 II	
第20回	4章 医療統計 II	
第21回	4章 医療統計 II	
第22回	4章 医療統計 II	
第23回	4章 医療統計 II	
第24回	4章 医療統計 II	
第25回	4章 医療統計 II	
第26回	4章 医療統計 II	
第27回	4章 医療統計 II	
第28回	総合問題	
第29回	定期試験	
第30回	解答解説	

科目名	専門 試験対策Ⅳ(講義)				担当者名	下戸 稔	
学科	診療情報管理専攻科	学年	3年	学期	前期	単位	2単位(30時間)
実務経験	平成元年7月～平成15年7月津久見中央病院医事課勤務、平成15年8月～令和4年3月大分赤十字病院(医療業務支援課)勤務、令和5年4月～高邦会高木病院(診療情報管理部)勤務			資格等	診療報酬請求事務能力認定試験合格(H7) 診療情報管理士(H9)、診療情報管理士指導者(H21) 医療情報技師(H17)		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

目的:
1・2年次に学習した医療管理の知識の復習を資格試験合格を目指して行う。

形式:試験形式
・原則、各章4コマの試験対策、1コマの総合問題で行う
・各試験問題と10～20分の解説を行う。

《評価方法》

- ・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・受験生であることを自覚し、自己管理の徹底を図ること。
- ・予習、復習を必ず行い、理解できないところがあれば早急に解決すること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ:専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題:専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、8章 診療情報管理 I	
第2回	8章 診療情報管理 I	
第3回	8章 診療情報管理 I	
第4回	8章 診療情報管理 I	
第5回	9章 診療情報管理 II	
第6回	9章 診療情報管理 II	
第7回	9章 診療情報管理 II	
第8回	9章 診療情報管理 II	
第9回	10章 診療情報管理 III	
第10回	10章 診療情報管理 III	
第11回	10章 診療情報管理 III	
第12回	10章 診療情報管理 III	
第13回	総合問題	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	
第16回		
第17回		
第18回		
第19回		
第20回		
第21回		
第22回		
第23回		
第24回		
第25回		
第26回		
第27回		
第28回		
第29回		
第30回		

科目名	専門 試験対策 V (講義)				担当者名	下戸 稔	
学科	診療情報管理専攻科	学年	3年	学期	通年	単位	4単位(60時間)
実務経験	平成元年 7月～平成15年 7月津久見中央病院医事課勤務、平成 15年 8月～令和 4年 3月大分赤十字病院(医療業務支援課)勤務、令和5年4月～高邦会高木病院(診療情報管理部)勤務			資格等	診療報酬請求事務能力認定試験合格(H7) 診療情報管理士(H9)、診療情報管理士指導者(H21) 医療情報技師(H17)		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

目的:
1・2年次に学習した医療管理の知識の復習を資格試験合格を目指して行う。

形式:試験形式
・原則、各章12コマの試験対策、前・後期1コマの総合問題で行う
・各試験問題と10～20分の解説を行う。

《評価方法》

・成績評価は、定期試験及び学期中に行う小テスト、出席状況、授業態度も加味して評価する。
・成績評価は、規則に準ずるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

・授業中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
・受験生であることを自覚し、自己管理の徹底を図ること。
・予習、復習を必ず行い、理解できないところがあれば早急に解決すること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理Ⅲ:専門課程編	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
診療情報管理士教育練習問題:専門	一般社団法人 日本病院会	株式会社 日本病院共済会	
疾病、傷病及び死因の統計分類提要 第1巻、第3巻		厚生労働統計協会	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	オリエンテーション(授業の進め方)、11章 国際統計分類 I	
第2回	11章 国際統計分類 I	
第3回	11章 国際統計分類 I	
第4回	11章 国際統計分類 I	
第5回	11章 国際統計分類 I	
第6回	11章 国際統計分類 I	
第7回	11章 国際統計分類 I	
第8回	11章 国際統計分類 I	
第9回	11章 国際統計分類 I	
第10回	11章 国際統計分類 I	
第11回	11章 国際統計分類 I	
第12回	11章 国際統計分類 I	
第13回	総合問題	
第14回	定期試験	
第15回	解答解説	
第16回	オリエンテーション(授業の進め方)、12章 国際統計分類 II	
第17回	12章 国際統計分類 II	
第18回	12章 国際統計分類 II	
第19回	12章 国際統計分類 II	
第20回	12章 国際統計分類 II	
第21回	12章 国際統計分類 II	
第22回	12章 国際統計分類 II	
第23回	12章 国際統計分類 II	
第24回	12章 国際統計分類 II	
第25回	12章 国際統計分類 II	
第26回	12章 国際統計分類 II	
第27回	12章 国際統計分類 II	
第28回	総合問題	
第29回	定期試験	
第30回	解答解説	

科目名	病院実習Ⅱ					担当者名	田中 宏和
学科	診療情報管理専攻科	学年	3年	学期	前期	単位	2単位(90時間)
実務経験	柳川リハビリテーション学院医事課で6年、山王病院医事課で5年、福岡山王病院医事課長として9年			資格等	診療情報管理士		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

目的:
 2年時に行った実習をもとに、診療情報管理士としての業務の実践的実習を行う。
 ここでは、実際の専門職としての業務内容を理解し実践を学びながら、他部署とコミュニケーションを図り連携業務やできる限りの委員会、カンファレンス等参加を行い、職業理解に努める。
 その中で、社会人的マナーや資質を身に付け、自己に求められる課題、技能、倫理等、総合的な能力を学ぶ。
 また、学校で学んだ知識がどのように活かせるかを確認し、今後の就職活動への動機づけをすることでもある。

《評価方法》

- ・成績評価は、実習ノートの記載、出席状況、授業態度も加味して評価する。
- ・成績評価は、規則に準ずるが、再実習の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

- ・実数中は私語をするなど、他に迷惑をかける行為は厳禁。
- ・実習中の居眠りをしないよう心がけること。
- ・社会人的マナーを遵守し、日常の笑顔でのあいさつを心がけること。
- ・理解できなかった部分は復習を行い、次回、質問を行い理解に努めること。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
実習ノート(オリジナル)			

